

トップメッセージ



取締役社長

大場康弘

あなたが健康だと、だれかがうれしい。

平素より、SOMPOひまわり生命保険をお引き立て賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、「お客さまの視点ですべての価値判断を行い、保険を基盤としてさらに幅広い事業活動を通じ、お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービスをご提供し、社会に貢献」するというSOMPOグループの経営理念のもと、「健康応援企業」への変革を進めています。

お客さまの「万が一」をお支える生命保険会社として、お客さまが健康になるための「毎日」にも寄り添い、「万が一の備え」と「毎日の健康」の双方で、お客さまのお役に立てる存在が、健康応援企業の姿です。

人生100年時代において、お客さまの豊かな人生や夢の実現をサポートするとともに、持続可能で豊かな社会の構築に貢献したいと考えています。

具体的には、保険本来の機能としての保障に、お客さまの健康をサポートする機能を組み合わせた新たな価値「保険＋健康応援」(Insurhealth[®]:インシュアヘルス)を提供しています。

例えば、収入保障保険『じぶんと家族のお守り』は、お客さまの健康状態(BMI、血圧)または喫煙状態が改善されると以降の保険料が安くなるとともに、加入時からの保険料差額相当額を「健康チャレンジ祝金」としてお受け取りいただくことができ、お客さまの健康をサポートする機能を組み込んでいます。

また糖尿病の方のための医療保険『ブルー』は、糖尿病患者の方の重症化予防を目的としています。お客さまが糖尿病の治療に取り組み、数値を管理することで還付金をお受け取りいただけます。さらに、保険期間満了時には一定の条件を充たすことで健康な方と同じ医療保険に移行できる仕組みにより、治療の継続をサポートします。このように、今後も当社は、保険と健康を応援する機能を組み合わせたInsurhealth[®]商品を提供してまいります。

さらに当社は、企業スローガン「あなたが健康だと、だれかがうれしい。」を策定し、2019年10月から、社名を「SOMPOひまわり生命保険株式会社」に変更しました。名実ともに「健康応援企業」として、お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービスを提供し続けることで、社会に貢献してまいります。

皆さまには、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

2020年7月

SOMPOひまわり生命の沿革

1980	損保ジャパンひまわり生命	日本興亜生命
<p>1981年(昭和56年)7月 「アイ・エヌ・エイ生命」 設立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 1981年(昭和56年)7月 Life Insurance Company of North Americaの100%出資で「アイ・エヌ・エイ生命保険株式会社」設立 ● 1982年(昭和57年)4月 営業開始 ● 1983年(昭和58年)4月 安田火災海上保険株式会社と業務提携 	
<p>1990</p> <p>1997年(平成9年)1月 「アイ・エヌ・エイひまわり生命」 に改称</p> <p>2001年(平成13年)1月 「安田火災ひまわり生命」 に改称</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 1996年(平成8年)10月 安田火災への業務の代理・事務の代行委託開始 ● 1997年(平成9年)1月 社名を「アイ・エヌ・エイひまわり生命保険株式会社」に変更 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1996年(平成8年)8月 日本火災海上保険株式会社の100%出資で「日本火災パートナー生命保険株式会社」設立 ● 1996年(平成8年)10月 営業開始
<p>2000</p> <p>2002年(平成14年)7月 「損保ジャパンひまわり生命」 に改称</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 2001年(平成13年)1月 安田火災が株式を過半数取得社名を「安田火災ひまわり生命保険株式会社」に変更 ● 2001年(平成13年)12月 安田火災が株式を100%取得 ● 2002年(平成14年)7月 株式会社損害保険ジャパンの発足に伴い社名を「損保ジャパンひまわり生命保険株式会社」に変更 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1996年(平成8年)8月 「日本火災パートナー生命」 設立 ● 1996年(平成8年)8月 「興亜火災まごころ生命」 設立 ● 2001年(平成13年)4月 合併 「日本興亜生命」 誕生 ● 2001年(平成13年)4月 日本火災と興亜火災の合併に伴い、日本火災パートナー生命と興亜火災まごころ生命も同時に合併し、「日本興亜生命保険株式会社」が誕生
<p>2010</p>	損保ジャパン日本興亜ひまわり生命	
<p>2011年(平成23年)10月 合併 「NKSJひまわり生命」誕生</p> <p>2014年(平成26年)9月 「損保ジャパン日本興亜ひまわり生命」 に改称</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 2010年(平成22年)4月 株式会社損害保険ジャパンと日本興亜損害保険株式会社の経営統合によるNKSJホールディングス株式会社の設立とともに、NKSJグループの傘下に入る ● 2011年(平成23年)10月 損保ジャパンひまわり生命と日本興亜生命が合併し、「NKSJひまわり生命保険株式会社」が誕生 ● 2014年(平成26年)9月 NKSJグループが、グループ名を「損保ジャパン日本興亜グループ」に変更することに伴い、社名を「損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社」に変更 	
<p>2019年(令和元年)10月 「SOMPOひまわり生命」 に改称</p>	SOMPOひまわり生命	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 2019年(令和元年)10月 「お客さま本位の業務運営方針」に基づき社名を「SOMPOひまわり生命保険株式会社」に変更 	

■ 2019年10月1日より 「SOMPOひまわり生命」へ商号変更

当社は、お客さまの視点ですべての価値判断を行うことを経営理念に掲げ、お客さまへのわかりやすさを第一に考え、選ばれ続ける保険会社を目指しています。「お客さま本位の業務運営方針」に基づき、お客さまにとってのわかりやすさの観点から2019年10月に商号(社名)を「SOMPOひまわり生命」に変更いたしました。

新たな商号のもと、今まで以上のお客さま視点での商品・サービスの提供により、お客さまの健康を応援する「健康応援企業」への変革を実現し、社会に貢献してまいります。



■ 「Insurhealth®:インシュアヘルス」について

当社は保険本来の機能(Insurance)に、健康を応援する機能(Healthcare)を組み合わせ、お客さまが健康になることを応援する健康応援企業として、従来にない新たな価値「保険+健康(Insurhealth®):インシュアヘルス」を提供してまいります。保険本来の機能である万が一の安心に加え、Healthcare(健康応援)を一体化することで、お客さまの「万が一」を可能な限りなくしていきたいと考えています。

◆ 2019年12月 糖尿病患者向けの医療保険『ブルー』販売開始

本商品は、糖尿病患者の治療の継続を支援することを目的とし、保険+重症化予防という新たな価値「Insurhealth®:インシュアヘルス」を提供いたします。

糖尿病などの慢性疾患管理アプリ「シンクヘルス」を提供するH2株式会社と業務提携を行い、アプリを活用したHbA1c値などの継続管理を推奨し、一定の条件を充たせば健康体の方と同様の医療保険に移行する仕組みにより、糖尿病患者の重症化予防に貢献します。



◆ 2020年1月「ニューロトラック 脳ケア」アプリの提供開始
米国シリコンバレーのスタートアップ企業である Neurotrack Technologies, Inc.(Co-Founder and CEO:Elli Kaplan)と認知機能低下リスクを早期発見し、認知機能の改善・維持を支援するアプリ「ニューロトラック 脳ケア」の共同開発を行い、2020年1月より提供を開始しました。

本サービスは、認知機能チェックテストと認知機能低下に影響を与える生活習慣について質問をし、その結果から、自身に適した改善項目を提案し、改善を促していくプログラムです。スマートフォンで手軽に利用することができ、かつ、科学的な観点で早期発見から改善までお客さまをトータルで支援します。



◆ 2020年3月 無配当総合福祉団体定期保険に『健康経営割引制度』の導入

団体向け商品「無配当総合福祉団体定期保険」に、業界初※となる「健康経営割引制度」を導入しました。この制度は、経済産業省認定を受けた団体および自社基準を充たした団体に対して、当社所定の割引率により保険料を割引きます。これにより、企業の健康経営への取組みをサポートし、従業員福祉の向上に寄与するとともに、企業が抱える問題の解決に貢献してまいります。

※2020年3月時点

■ 「コンタクトセンター・アワード2019」において 審査員特別賞を受賞

当社は「お客さまの視点ですべての価値判断を行い、保険を基盤としてさらに幅広い事業活動を通じ、お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービスをご提供し、社会に貢献する」という経営理念のもと、コンタクトセンター運営部門においても「最進・最優(最も進み・最も優れた)のコンタクトセンターの実現」を目指して日々、業務改善に取り組んでまいりました。

その結果、コールセンター運営における優れた取組みと成果を表彰する「コンタクトセンター・アワード 2019」(主催:株式会社リックテレコム コールセンタージャパン編集部、共催:イー・パートナーズ有限会社)において、「審査員特別賞」を受賞いたしました。



■ 保険料決済サービスにQRコード決済 (LINE Pay、クレジットカード)を導入

当社は2020年3月より、保険料の振替不能時の決済に「QRコードを使ったマルチ決済サービス」を導入しました。本サービスの導入により、保険料の振替ができなかった場合、オンライン上でLINE Payおよびクレジットカードでのお支払いが可能となりました。

■ 「LINE」を使った給付金請求 受付サービスの開始

お客さまの利便性向上を目的に、業界初[※]となる、「LINE」を使った給付金請求受付サービスを2020年3月より開始しました。

今後も「LINE」を活用したさまざまなコミュニケーションをはじめ、お客さまの利便性向上やお客さま本位での価値・サービスの提供、サービスの改善に努めてまいります。

※2020年3月時点

■ 世界最大規模の家電見本市 「CES2020」に出展

当社は、2020年1月に米国ネバダ州・ラスベガスで開催された世界最大の家電見本市「CES2020」に日本の保険業界として初めて^{※1}単独出展をしました。

「Insurhealth[®](インシュアヘルス)」の概念を世界に発信し、最新テクノロジーを活用した保険契約者向けのヘルスケアサービスのプロトタイプ展示を行いました。

【展示サービス内容】

- ストレスチェックアプリ^{※2}:タブレットやスマートフォンによる顔の撮影のみでストレス状態をチェックする
- 認知機能チェックアプリ^{※3}:目の動きで認知機能の状態をチェックする
- 生活習慣病リスク予測アプリ^{※4}:個人の健康診断結果の情報をもとにAIを活用し生活習慣病リスクを6年後まで予測する

今後もさまざまなセンシング技術を用いて得られたデータをもとに、お客さま一人ひとりにパーソナライズした保険商品の提案やヘルスケアサービスを提供し、健康応援企業を目指す姿を世界に向けて発信していきます。

※1 2020年1月時点

※2 binah.ai と協業開発

※3 Neurotrack Technologies, Inc と協業開発

※4 株式会社 東芝、東芝デジタルソリューションズ 株式会社 と協業開発

